

ほうでえ～

ありゃ～のう

周防大島町の話題

社会を明るくする運動



久賀庁舎でメッセージの伝達



山口保護観察所で社明大使の認定を受けるマウンテンマウスの中谷昌史さん

7月は社会を明るくする運動が法務省の主催により全国的に展開されます。周防大島町では、7月1日、大島保護区保護司会、大島地区更生保護女性会によりパレードや街頭宣伝活動が行われました。パレードでは大島警察署や社会福祉協議会を訪問。役場の各庁舎には保護司会の奥原法城会長から法務大臣のメッセージが届けられました。

今年は兄妹デュオマウンテンマウスが「社明大使」に任命され、各地での社会を明るくする運動に参加。犯罪や非行の防止や、罪を犯した人の更生への理解を深める活動を行いました。

看護への誓い



6月20日、大島看護専門学校で戴帽式たいぼうしが行われました。看護師の象徴でもあるナースキャップを授かる儀式で、2年生一人ひとりが学校長からナースキャップを与えられました。ナイチンゲールの像からろうそくをともして壇上に並び、看護の道を志した決意を誓いのことばとして声をそろえて述べました。

三吉規子学校長は、「現場でナースキャップをつけることは少なくなりましたが、看護への覚悟として心の中にはナースキャップを持っているつもりで」と激励。保護者や在校生の見守る中戴帽の儀を終えた36人は、看護への決意を新たにし、病院での実習を受けます。